

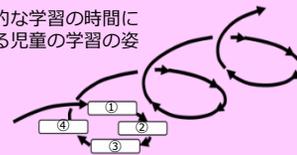


## 授業づくりの視点

各教科等で身に付けた資質・能力をどの学習活動でどのように活用すればよいのかを考えながら進めましょう。

単元を通して①課題の設定、②情報収集、③整理・分析、④まとめ・表現の一連の探究のプロセスを繰り返すように設定しましょう。

総合的な学習の時間における児童の学習の姿



## 授業実践事例

### 1 目標を実現するにふさわしい探究課題 地域学習 [第3学年]

児童が生活している地域の魅力について、訪問して聞く等の情報収集、整理・分析、まとめ・表現という一連の過程を繰り返す事を通して、地域の魅力を「お宝」として再発見する単元である。

### 2 探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力

#### 知識及び技能

地域の人々が伝統や文化を保護・活用し、大切に受け継いでいることを理解する。

#### 思考力、判断力、表現力等

施設や人、行事、自然等様々な視点から地域の魅力に関心を持ち、調べたいことを見付け、地域の人や家族、友達と進んで関わりながら調べたり、まとめたりする。

#### 学びに向かう力、人間性等

地域の魅力をまとめる取組を通して、地域のよさに気付いたり、地域の人々に支えられながら生活していることに気づき、地域を大切にしていこうとする気持ちを育む。

### 3 単元のデザイン 全40時間

本単元の流れ	児童の学びの姿
身近な地域の施設を知る 【課題の設定】 【情報収集】（体験）  【整理・分析】 【まとめ・表現】 （次の課題設定）	◎ <b>社会科の地域探検を振り返り、地域の施設について知っていることを伝え合う。</b> ・ 科学館ならよく行っているし知っているよ。 ・ 科学館の中に石器等を調査する部屋があるなんて知らなかった。 ・ 「何人で調査をしているの」等、聞きたいことがまだまだあるぞ。 ◎ <b>より詳しく知るために、繰り返し訪問し、新たに知ったことも併せてまとめる。</b> ・ 聞いた内容をまとめるために、まずは付箋に書き出して整理してみよう。 ・ この発表で、聞いた内容をしっかり伝えることができたかな。 ・ 他のお宝も調べたいな。
地域の他の特徴を考える 【情報収集】（体験） 【整理・分析】  【まとめ・表現】	◎ <b>視野を広げ、地域には、他にどんなお宝があるか調べる。</b> ・ 地域のお宝がたくさん集まったな。 ・ 調べた情報を分類すると同じものもあるね。 ・ なぜ、地域のお宝と言えるのかな。情報を基に理由も考えよう。 ・ みんなの発表を聞くと、地域には、いろんなお宝があることが分かったね。 ・ 調べてまとめたことを参観日で発表するとドキドキしたけど伝わったかな。
伝えたいことをまとめる 【課題の設定】 【整理・分析】 【まとめ・表現】	◎ <b>地域を調べて見付けたお宝を、他の学級や2年生にどう伝えるかを考える。</b> ・ ここまで調べた内容を、他の学級や2年生にどう伝えようか。 ・ 分かりやすいように、パンフレットにまとめたらどうだろう。 ・ 友達の発表を聞いていると、さらに知りたいと思うことが多くあった。地域にはいろんなお宝があるよね。まとめは大変だったけど、すごく楽しくできたよ。

本時

○本単元における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

○探究課題を見付け、主体的に解決しようとする等の探究のプロセスのサイクルを繰り返し設定し、それぞれの過程を、児童が意識できるようにする。

対話的な学び

○友達と協働して課題を解決するために、自分の考えたことを伝え合ったり、学級や班で考えを集約したりする等の場を設定する。

深い学び

○振り返りの時間を確保するだけでなく、その視点も示し、聞き手を意識した発表の仕方等の新たに身に付けた資質・能力の自覚ができるようにする。

※下線部分は、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」において特に大切にしてほしい教師の手だてを示しています。

4 本時の展開 第31時／全40時

本時のねらい

班ごとにパンフレットに載せたいお宝とそれを選んだ理由を説明し合い、各班の発表内容についてよかったところや改善点を考えることができる。

児童の学びの質を高めるPoint

自分の授業に取り入れてみましょう。

本時の流れ	児童の学びの姿	教師の手だて
<p>前時までの学習を思い出し、本時のめあてをつかむ</p>	<p>◎前時の学びを振り返り、本時のめあてを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間は地域の特徴（お宝）を班でまとめたので、今日は班発表をします。</li> </ul>	<p><b>主体的な学びの手だて</b> 探究のプロセスを提示し、本時がどの過程で、今日は何をすればよいのかについて、児童に考えさせ、本時のめあてをつくる。</p>
<p><b>めあて</b> 班でまとめたお宝について、よりよい発表になるよう準備しよう</p>	<p>◎前時にまとめた内容をどう発表するかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が全体の進行をします。</li> <li>・私は前半の発表をします。</li> </ul>	<p>○前時にまとめた資料を見ることで、内容を想起するとともに、進行や発表等、班内の役割分担を確認させ、スムーズな発表につなげる。</p>
<p>班での話し合いをもとに発表し、発表の工夫について助言し合う</p>	<p>◎他の班の発表を聞き、よりよい発表にするために助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図があった方が、場所がよく分かると思う。</li> <li>・お宝を選んだ理由を書いた方がよく伝わると思う。</li> <li>・よく伝わるまとめをしているから、もっと自信をもって発表すればいいと思う。</li> </ul>	<p><b>対話的な学びの手だて</b> 発表を聞く視点（よかった点、改善点）を示した助言シートを基に他の班の発表を聞き、よりよい発表に向けて相互に助言できるようにする。</p>
<p>取組をまとめる</p>	<p>◎本時の学習を振り返り、今後の取組の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の班からの助言を基に、お宝のまとめ方の改善点を考えることができた。</li> </ul>	<p><b>深い学びの手だて</b> 三つの視点（よく考えたこと、もっとよくしたいこと、次にやりたいこと）から振り返り、その内容を発表することで、今後の学級全体の活動イメージがもてるようにする。</p>
<p><b>まとめ</b> 他の班の助言を参考に、よりよい発表にする修正点に気付いた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ調べようと思ったかの理由等、聞いてくれる人を意識してまとめたい。</li> </ul>	
<p>振り返りを行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめだけでなく、発表についても練習したい。</li> </ul>	

Point

めあてを主体的につかませる

探究のプロセスを児童に意識させ、思いに寄り添いながら本時のめあてをつかむことができるようにしましょう。

Point

考えを整理する技法の活用

聞く視点を示したワークシートを活用し、聞き手としての自分の考えを整理し、他班の改善につながる助言ができるようにしましょう。

Point

視点をもたせた振り返り

振り返りは、毎時間同じ視点で書くことで、内省を促すようにしましょう。また、発表することで、学級全体で共有するようにしましょう。

※「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、必ずしも全てが1単位時間の授業で見られるものではなく、単元や題材等、内容や時間のまとまりの中で、実現を図っていくものです。本資料では、1単位時間において三つの学びを支える最も効果的な教師の手だてを精選し、紹介しています。

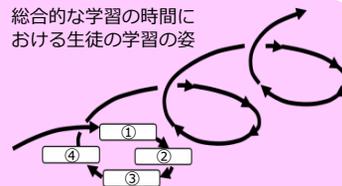


## 授業づくりの視点

「各学校における教育目標」と学習指導要領の「第1の目標」と踏まえて、各学校で総合的な学習の時間の目標を定めましょう。目標を実現するにふさわしい探究課題を設定し、その解決を通して資質・能力の育成を図りましょう。

学習活動を①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現の一連の探究のプロセスとなるように単元を構想しましょう。

総合的な学習の時間における生徒の学習の姿



## 授業実践事例

### 1 目標を実現するにふさわしい探究課題

### 地域学習を将来へつなげる [第3学年]

3年間の地域学習（海洋学習）の振り返りから、新たに地域の課題を見だし、その課題解決のために自らが社長となり、地域の活性化をミッションとして掲げる「地域の社長になろう～地域活性化の応援団～」の取組を通して、自らが地域に貢献できることを考え、自己を見つめる単元である。

### 2 探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力

#### 知識及び技能

地域（ふるさと）のよさや課題を改めて知るとともに、課題解決のための情報を収集し、それを整理・分析したり、まとめたりする技能を身に付けることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

3年間の地域学習（海洋学習）の振り返りから新たな課題を見だし、多面的な見方で発想を広げたり、解決の方策を考えたりし、意見を集約したポスターにまとめ、聞く人に伝わりやすいように発表することができる。

#### 学びに向かう力、人間性等

地域についての探究的な学習に主体的に取り組むとともに、班で協働しながら考えを深め、地域の一員として自分の将来を考え、日常の学習や生活を見つめ直そうとする。

### 3 単元のデザイン

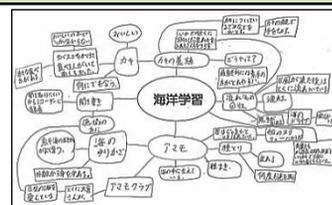
全5時間

#### 本単元の流れ

#### 生徒の学びの姿

【課題の設定】  
3年間の地域学習（海洋学習）を振り返り、課題の設定を行う

- ◎「海洋学習」をキーワードとしたウェビングを用いて取組を振り返り、新たな課題を見だす。
  - ・海で活動したり、地域の方の話を聞いて考えたりしたね。
  - ・後継者不足等まだまだ課題があるな。
  - ・どうすれば地域が活性化するか。



〔海洋学習のウェビングの例〕

【情報の収集】  
課題解決のための情報（アイデア）を収集する

- ◎ウェビングを用いて個人で考え、班で共有することで多様なアイデアを得る。
  - ・この地域ならではの海を生かして、多くの人に来てもらいたいな。
  - ・SNS等で地域の魅力を日本中に発信して、地域の活性化につなげよう。

【整理・分析】  
課題解決に向けて、収集した情報（アイデア）を整理し、分析する

- ◎地域に根ざした架空の会社を班で一つ作り、社名・コンセプト、地域活性化に向けた事業内容を考える。
  - ・アマモ場再生活動を体験してもらったらいいね。
  - ・地域の活性化の循環をつくらないといけな。



【まとめ・表現】  
課題の解決策をまとめ、表現する

本時

- ◎班の考えをポスターにまとめて発表し、異なる視点や考え方のよさを生かして、将来の地域の姿や自分の将来を考える。
  - ・新しいことを考えていたけれど、今の地域のよさを生かすことも大切だね。
  - ・地域のよさを改めて考えることができた。地域の一員としてがんばりたい。

# ○本単元における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

## 主体的な学び

○新たな探究課題を自分事として学びを進められるようにするために、3年間の地域学習（海洋学習）の取組を写真やウェビングで振り返らせる。

## 対話的な学び

○ウェビングを活用して情報（アイデア）を可視化したり、他者から多様な情報を収集したりしながら、他者とともに課題解決に向けて活動する場を設定する。

## 深い学び

○「まとめ・表現」をする際に、各教科等で身に付けた知識や技能を意識させ、ポスターを作成したり、相互に質疑をしたりする場を設定する。

※下線部分は、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」において特に大切にしてほしい教師の手だてを示しています。

## 4 本時の展開

第5時／全5時

## 生徒の学びの質を高めるPoint

自分の授業に取り入れてみましょう。

### 本時のねらい

- ・ 聞く人に伝わりやすいように発表し、各班の考えのよさに気付く。
- ・ 将来の地域の姿を考えることで、自分の将来について考えたり、日常の学習や生活を見つめ直そうとしたりする。

本時の流れ	生徒の学びの姿	教師の手だて
<p>前時の学習を想起し、本時のめあてをつかむ</p> <p><b>めあて</b> 各班の会社のよいところを探し、将来の地域の姿について考えよう</p> <p>各班の発表と質疑を繰り返す</p> <p>発表について全体でまとめる</p> <p><b>まとめ</b> どの班の発表にもよさがあり、その実現のために地域の一員として期待されている</p> <p>学習を振り返り自己を見つめる</p>	<p>◎ <b>前時の学びを振り返り、本時のめあてをつかむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の班の発表も参考に将来の地域の姿についてじっくり考えよう。</li> </ul> <p>◎ <b>地域活性化に向けた会社の事業内容等を発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞く人に会社のよさや内容が伝わる発表をしよう。</li> </ul> <p>◎ <b>それぞれの班の工夫点や質問したいこと考えながら聞く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の班はどのように活性化させようとしているのかな。</li> </ul>  <p>◎ <b>課題解決に向けた、より実行性のある方法を考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なるほど、クーポンを配っても経済の循環が起きて赤字にはならないのか。</li> <li>・ 循環という発想がいいね。</li> </ul> <p>◎ <b>考えが実現した地域を想像し、将来の自分について考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のよさが改めて分かり、もっと好きになったな。</li> <li>・ 自分も地域の一員として、将来の夢に向かってがんばろう。</li> </ul>	<p><b>主体的な学びの手だて</b> これまでに作成したウェビング図を基に学びを振り返り、発表を通して自分の考えをより明確にすることを意識付ける。</p> <p><b>対話的な学びの手だて</b> 発表者は「質問がありますか」と問い掛け、聞き手からアイデアを引き出す等、自分たちで質疑を進め、よくするための情報を集めることで、課題解決に向かうようにする。</p> <p><b>深い学びの手だて</b> 各教科の知識を生かした発言を全体場で取り上げることで価値付けを行い、一人一人の学びを自覚化させるようにする。</p> <p>○ 「中学生のみんなには地域の応援団になってもらいたい」という地域の方からの言葉を取り上げ、地域の一員として、地域とともに自分の将来について考えさせる。</p>

### Point

#### 自分事として学ぶ

生徒の考えや思いが表現された成果物等を活用することで、学ぶ目的を自分事として捉えられるようにしましょう。

### Point

#### 課題解決に向けた対話

課題解決に向けた発表や質疑にするために、質・量ともに課題に対応した情報となるように意識したり、発表方法を工夫したりしましょう。

### Point

#### 各教科の学びを生かす

自分の考えをより確かにするために、各教科等で身に付けた知識や技能等を活用して説明したり、考えを比較したりすることを意識するようにしましょう。